



中島稔 <nakaji.vector@gmail.com>

【The daily olive news】[放射線は、DNAを損傷する。][2011/05/24 04006号]

ベクター）中島稔 <vector@raidway.ne.jp>

To: olinavi@ml03.olivenews.net

2011年5月24日 16:59

風評被害について思う

菅 直人首相は、またしても『大根役者』ぶりを見せ付けた。中国『温』首相と韓国『李』大統領と共に福島県を訪問し、メディアの前で野菜を食して見せた。

この男、何かといえば、メディアの前で自ら食して見せることが安全性を訴えることが効果的であると考えているらしい。

幼児期に母親から褒められた（初めての厚生大臣時、かいわれ大根を食し、マスコミの賞賛を受けた）ことが忘れられないようだ。

首相がメディアの前で食したからといって、安全であると思う国民は誰ひとりとしていないのではないか？むしろ、このようにパフォーマンスをしなければならないのには、隠された何かがある筈だと考えてしまう。まさに、これこそが風評被害を生む根源である。

『根拠なき原因による、言われなき欠陥』を風評被害と理解するが、『安全だ・安全だ・・・・』と念仏のように唱えても誰の共感も得られまい。ここは定期的に定量的データを収集し、SPEEDIあるいはIAEAなどによる安全基準に照らした判断が不可欠なのだ。パフォーマンスと念仏だけの菅首相が理数系出身だとか、弁理士をしていたなど笑止千万である。

2ヶ月が過ぎた今も、具体的な復興策が見えず被災者の方々は、政府に・国会議員に・行政に・学者に・マスコミに・・・頼れるところは何処にもないといった心境ではないのでしょうか？

あれもこれも手を付けただけで何もできない政府にも、そろそろ決断を下さなければその存在意義が失墜する。今更？？の感もあるが、

震災・津波の復興と原発対応と分離した組織で各々が独立してその対策に当たる。

各組織のトップには、全権を任せ（当然、丸投げとは違う）首相がノコノコ動き回らない。

能力ある行政官は行政の組織横断的に上記組織のトップが選任できる。

ボランティアを組織の内に組み込んで活用。

もちろん最終責任は首相が負う（これが一番難しい？？）

等々、今からでもできることは限りなくある。

これができるのなら、速やかにその職を辞することぐらいはできるだろう。

一方、生産者の方々も考え方を変える必要がある。福島県産だから、茨城県産だからという理由で不安視され、放射線量の検査をしなければ出荷できないという場合である。

検査をしなければ・・・・ということで被害者意識を前面に出すばかりじゃなく、むしろ検査にパスすれば大手を振って、全国に出荷できるのだと考えましょう。

中国『温』首相の言う『条件が整えば輸入制限をなくしましょう』とは、まさにこのことを指しています。

v e c t o r

2011年5月24日2:18 <olinavi@ml03.olivenews.net>:

[元のメッセージ非表示]

--